



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月8日

上場会社名 シップヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3360 URL <https://www.shiphd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大橋 太
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 横山 裕司 (TEL) 06-6369-0130
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	263,520	12.3	7,971	5.0	7,498	1.6	4,143	0.6
2022年3月期第2四半期	234,663	—	7,593	△3.1	7,378	△10.8	4,118	△12.6

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 6,774百万円(84.6%) 2022年3月期第2四半期 3,670百万円(△42.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	43.92	39.80
2022年3月期第2四半期	43.65	39.57

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。これにより、売上高につきましては、対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	360,355	125,267	33.6
2022年3月期	335,074	122,318	35.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 121,212百万円 2022年3月期 118,289百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	41.00	41.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	42.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	560,000	8.9	21,000	2.4	21,000	△1.4	12,500	2.7	132.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	101,669,400株	2022年3月期	101,669,400株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	7,319,138株	2022年3月期	7,319,116株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	94,350,268株	2022年3月期2Q	94,350,320株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,376	7,543
減価償却費	1,738	2,189
のれん償却額	934	1,176
持分法による投資損益(△は益)	△90	10
賞与引当金の増減額(△は減少)	△232	△465
貸倒引当金の増減額(△は減少)	50	201
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	58	40
受取利息及び受取配当金	△245	△273
支払利息	142	190
売上債権の増減額(△は増加)	21,917	7,582
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,446	△3,202
仕入債務の増減額(△は減少)	△19,547	△4,078
リース投資資産の増減額(△は増加)	82	98
その他	△1,321	440
小計	8,417	11,453
利息及び配当金の受取額	356	432
利息の支払額	△144	△190
法人税等の支払額	△6,098	△4,648
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,531	7,046
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△92	△185
定期預金の払戻による収入	86	240
有形固定資産の取得による支出	△1,660	△1,395
有形固定資産の売却による収入	22	114
無形固定資産の取得による支出	△158	△307
短期貸付けによる支出	△200	△107
長期貸付金の回収による収入	136	198
投資有価証券の取得による支出	△7	△116
関係会社株式の取得による支出	△121	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	24	382
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△117	△2,998
その他	△99	△846
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,187	△5,021

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	627	8,830
長期借入れによる収入	262	471
長期借入金の返済による支出	△2,235	△2,763
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△3,774	△3,868
非支配株主への配当金の支払額	△16	△22
リース債務の返済による支出	△125	△132
その他	△48	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,310	2,514
現金及び現金同等物に係る換算差額	△41	139
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,009	4,680
現金及び現金同等物の期首残高	72,950	72,804
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	8	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	67,949	77,484

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	トータル パック プロデュース 事業	メディカル サブライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	34,705	173,368	12,504	14,084	234,663	—	234,663
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	864	696	90	45	1,696	△1,696	—
計	35,570	174,064	12,594	14,129	236,359	△1,696	234,663
セグメント利益	2,224	2,646	1,240	1,547	7,658	△64	7,593

(注)1 セグメント利益の調整額△64百万円には、セグメント間取引消去△36百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△21百万円等が含まれております。全社費用等は、主に親会社本社の子会社からの運営費用収入、営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費の純額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、管理区分の変更に伴い、従来「その他」に含まれていた事業を「トータルパックプロデュース事業」等を含める等、報告セグメントの区分変更を行っております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	トータル バック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	48,651	184,681	15,472	14,715	263,520	—	263,520
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,341	722	28	49	2,141	△2,141	—
計	49,992	185,404	15,501	14,764	265,661	△2,141	263,520
セグメント利益	2,684	2,687	1,111	1,419	7,903	67	7,971

(注) 1 セグメント利益の調整額67百万円には、セグメント間取引消去△29百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等98百万円等が含まれております。全社費用等は、主に親会社本社の子会社からの運営費用収入、営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費の純額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、キングラン株式会社を取得し、連結の範囲に加えております。

当該事象により「トータルバックプロデュース事業」セグメントにおいて、前連結会計年度の末日に比べ資産が26,202百万円増加しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結累計期間において、キングラン株式会社を取得し、連結の範囲に加えております。

当該事象による「トータルバックプロデュース事業」セグメントにおけるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては7,101百万円であります。

なお、のれんの金額は当第2四半期連結会計年度末において、取得原価の配分が完了していないため、入手可能な合理的な情報に基づいて暫定的に算出された金額であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。